



# 心さわやか庄

第62号

発行  
令和6年10月1日  
庄中学校区  
人権学習推進委員会  
事務局  
倉敷市庄公民館  
倉敷市上東736-1  
TEL 462-5151

## 人権学習推進委員会総会開催

5月30日(木)、人権学習推進委員会総会を開催しました。昨年度の事業報告と決算報告、本年度の事業計画案、予算案について協議し、承認されました。



### 庄中学校区人権学習推進委員会とは

庄中学校区内の各種団体の代表者等を推進委員として組織した委員会です。憲法に定められた基本的人権尊重の精神に基づいて、女性、子ども、高齢者、障がいのある人、同和問題などに関する様々な人権問題について、地域ぐるみで解決するため、自主的に学習・啓発及び実践に努め、「人権を尊重し合う、明るく住みよい地域づくり」に寄与することを目的としています。

## 令和6年度 庄中学校区人権学習推進委員会名簿

【50音順】

推進委員			氏名	所属団体名	役職	氏名	所属団体名	役職
杉岡 典子	庄保育園園長		三宅理恵子	庄学区愛育委員会		村上 美里	庄保育園保護者会	
安藤 正人	人権擁護委員	会長	宗田 説一	庄民生委員児童委員協議会		守安 裕子	庄認定こども園保護者会	
出射 信彦	障がい者支援施設 あしたば		辻 桂子	庄小学校PTA	監査	米山 侑志	生活介護事業所「わきあいあい」	
井上 直子	庄認定こども園園長		坪井 淳二	庄地区農業土木委員会				
井上 靖信	庄小学校校長		坪井 禮子	更生保護女性会				
小田 博則	倉敷分区保護司会		永田 和則	めやす箱 いっぽいっぽ				
尾原美由紀	庄学区交通安全母の会		中村 保	就労継続支援B型 クラシス	副会長			
樺田 健志	庄中学校校長		中山 沙織	共同生活援助事業所クムレ		浅原 好博	倉敷公民館	
加島谷典子	庄中学校PTA	副会長	中山 康	庄学区老人クラブ連合会		伊東 敦子	庄公民館	庶務・会計
片山佐奈美	庄中学校PTA	副会長	能美 美幸	庄中学校PTA	副会長	小村 勝	庄公民館	事務局長
河本 千恵	庄中学校区青少年育てる会		土師 秀之	庄の里		齊藤倫奈子	庄公民館	庶務・会計
小林紀代美	庄学区地域活動促進協議会会長		橋本 豪紀	つくば商工会		土家 健裕	倉敷公民館	
近藤 徹弥	サンライフ倉敷		平松 一男	倉敷交通安全協会庄支部長		平櫛 和男	庄中学校	
塩田 健	交通安全対策協議会		廣田 俊次	庄学区スポーツ振興会	監査	見浦 麗	庄公民館	庶務・会計
新開 大介	ワークハウス くるみ		松本 浩和	ノートルダム清心学園		横田 孝次	庄小学校	

広報紙「心さわやか庄」は、庄学区地域活動促進協議会のご厚意により、庄地区に配布していただいております。紙面をお借りしてお礼申し上げます。



# 心さわやか庄

第63号

発行  
令和7年3月1日  
庄中学校区  
人権学習推進委員会  
事務局  
倉敷市庄公民館  
倉敷市上東736-1  
TEL 462-5151



## 「第11回人権フェスタ庄」を開催

11月10日(日)、庄公民館で「第11回人権フェスタ庄」を開催しました。このイベントは、「つなげようみんなの心 広げよう思いやり」をテーマに庄中学校区人権学習推進委員が取り組んでいる事業で、子どもたちの健全育成と、福祉施設をはじめ障がいのある方への理解に重点を置いた「ふれあい・交流活動」です。当日は、天候にも恵まれ、庄地域の団体や施設のみなさんのご協力により、演技発表や作品展示、バザーなど様々な催しが行われ、多くの方にご来館いただきました。



ステージ発表



ワークショップ



人権ポスター・標語の展示

バザー

今年もステージ発表の司会・進行役をノートルダム清心女子高校の2年生3名が担ってくださいました。さらに、ノートルダム清心女子高等学校から2名、庄中学校から13名の生徒たちがボランティアとして福祉施設のバザーや推進委員の仕事を手伝ってくださいました。庄地域の学校園や福祉施設、各種団体の方々の協力のもと、盛況のうちに幕を閉じました。

# 研修視察 鳴門市「ドイツ館」

9月7日(土)、人権学習推進委員及び関係団体の皆様など合わせて18名で、鳴門市「ドイツ館」(徳島県鳴門市大麻町桧東山田)へ行きました。「ドイツ館」は、板東俘虜収容所で過ごしたドイツ兵捕虜たちの活動や、地域の人たちとの交流の様子を展示した史料館です。

板東俘虜収容所は、第一次世界大戦期の1917年、徳島県鳴門市大麻町桧(旧板野郡板東町)に建てられた捕虜収容所です。1917年4月～1920年4月、日本軍やイギリス軍などの連合国の俘虜(捕虜)となった、ドイツ帝国将兵及びオーストリア＝ハンガリー帝国の将兵など約1000名を収容していました。当時は、捕虜の待遇改善に向けた取り組みが行われていて、捕虜の保護に関する国際条約が結ばれていました。日本においても、この国際法を遵守して収容所での運営が行われており、とりわけ板東俘虜収容所においては、捕虜の自主活動が奨励され、捕虜に対してきわめて寛大かつ友好的な処置が行われました。(日本側は)捕虜から各分野における技術指導を受けることもありました。また、日本語教室や芸術活動、各種スポーツを楽しむ捕虜の活動は町の人々の興味・関心を引き、ドイツ兵捕虜への親しみは、だいに増していました。そして、1918年には日本で初めて収容所で結成された楽団によって、ベートーヴェンの交響曲第九番が演奏されました。

研修に参加された方からは、「収容所は、過酷な環境で捕虜に対する扱いはひどいものだと思っていたが、板東俘虜収容所は、捕虜の人権に十分に配慮した運営が行われていることに驚きました。」と感想をいただきました。

今回の研修では、武力紛争下での捕虜の扱いを通して、戦争と人権との関係を考えることができました。



## 第76回 人権週間

12月4日(水)～10日(火)

人権週間には、庄公民館ロビーに庄小学校、庄中学校の児童、生徒が描いた人権ポスター(R6年倉敷市人権ポスター展入選作品)を展示しました。来館された多くの方にすばらしい作品をご覧いただくとともに、人権の大切さを訴えました。



小2 岡崎 あおば さん



小4 野田 楓 さん

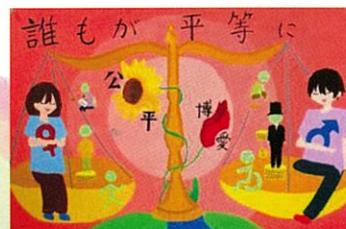


小6 藤澤 芽生 さん



優秀賞  
中3 平尾 紀佳 さん

※優秀賞に選ばれた平尾さんの作品は、倉敷市立美術館に展示されました。



中3 石田 優心 さん



中3 犬飼 詩歩 さん



小6 坂本 辰騎 さん



中3 鶴井 美羽 さん

## 手話教室・手話交流会

### 手話にチャレンジ!



#### 倉敷市手話言語条例とは…

手話は言語であるという認識の下に、市民の手話への理解の促進を図ることにより、地域における手話の使いやすい環境を構築することで、障がいのある人もない人も地域で安心して生活できる社会を実現することが、この条例の目的です。

7月20日(土)、庄手話サークルの皆様にご協力いただき、聴覚障がいに対する理解と認識を深めていただく目的で、手話教室・手話交流会を行いました。

毎回、子どもも大人も手話に興味がもてるように、サークルの皆様が工夫を凝らした内容を考えてくださいます。当日は、庄小・中学校の児童生徒、保護者の皆様、教職員の方々、地域の方々など約50名の皆様にご参加いただきました。

初めに、「近い」と「遠い」など身近な反対ことばの手話を教えていただきました。手の動きだけでなく、顔の表情を加えて表現するそうです。約20組の反対ことばを教えていただいた後、「覚えられましたか」と問い合わせられると、手話で「覚えた」もしくは「忘れた」と表現し、さっそく1つ手話を覚えられた様子でした。

次に、『にんげんっていいな』という歌を手話で歌いました。歌詞一つ一つのことばの手話を教わり、全員で何度か手話で歌っているうちに、表情も豊かになり、はつきり表現しながら歌うことができました。

最後は、手話で伝言ゲームをしました。相手に伝えたいという気持ちがあると、自然と身振りを大きくしたり、表情を加えたりと工夫していました。伝わりにくかった手話の意味を知って「なるほど」と納得する声も聞こえてきました。

会の締めくくりは、手話で「ありがとう」をお互いに伝え合いました。

参加された方からは、「ゲームを通して楽しく手話を覚えることができた」「手話でいろんな人と話してみたい」「今回参加して手話に興味がもてた」など感想をいただきました。倉敷市では、2021年12月に手話言語条例が制定されたこともあり、この会が地域の皆様の手話への関心、興味をもつことに繋がり、あたたかい地域づくりへの一歩となっていただけると幸いです。

## 令和6年度 事業一覧

### ○研修活動○

☆手話教室・手話交流会 7月20日(土)

☆研修視察 ドイツ館 他 (徳島県鳴門市)

9月7日(土)

### ○ふれあい交流活動○

☆人権の花いっぱい運動

4月5日(金)、7月4日(木)、10月

### 人権フェスタ庄

11月10日(日)

### ○啓発広報活動○

☆人権だより「心さわやか庄」発行 10月、3月

☆庄学区内の各事業で、

のぼり旗の設置と人権啓発グッズの配布

☆庄公民館内に人権標語・ポスター等の

展示及び人権啓発グッズの配布

庄地区の保育園、認定こども園、小学校、中学校、ノートルダム清心学園のみなさんのステージ発表や展示、福祉施設のみなさんのバザーや展示など、さまざまなイベントを企画しております。頑張っている子どもたちや障がいのある人たちを応援し、ふれあいの輪を広げましょう!